

【月刊AIニュース】8月の激動：中国勢の猛追と米国勢の戦略シフト

中国勢の猛追：
激安・高性能・オープン化の衝撃

コスト1/10以下の破壊的な価格競争



前世代



GLM 5.3 Flash等
(現行)

知能を維持

巨大な「オープンウェイト」モデルの続々公開



Alibaba Qwen 2.4兆モデルなど
誰でも利用可能

米国の輸出規制が中国の
設計技術を研ぎ澄ます



限られた計算資源で賢く動く、
効率的な独自設計が強みに

8月のトレンド転換点
モデル性能競争から、
エコシステム・経済合理性の競争へ



米国勢の戦略：
知能の向上から「構造・インフラ」へ

自社AIチップ開発とインフラの自立



NVIDIAへの依存低減

エコシステムの分断：OpenAI vs Cursor



Cursor

提供停止

契約違反を理由に、供給網に緊張

安全性と公共分野
への実装開始



日本の防衛省が
Sakana AI
を採用

AIが国家機能に浸透

比較：8月における対照的な動き

項目	中国勢 (Qwen, GLM, DeepSeek等)	米国勢 (OpenAI, Anthropic等)
主な動き	新モデル・ オープンウェイトの連発	自社チップ、安全性、 法的・ビジネス戦略
価格戦略	劇的な値下げ (前世代比 1/10など)	プロモ価格での値下げ、 または現状維持
注目技術	6Bなどの小規模で 高性能な推論設計	数学の難問解決 (Astra, Riemann予想)